

# こどもエコクラブ 交流会

## in 中部&近畿

～出会い、輪を広げよう～

## 実施報告書



この行事は、公益信託愛・地球博開催地域社会貢献活動基金と公益信託オータケ記念愛知県自然環境保護基金の助成を受けて行いました。

★ この報告書は、当会のホームページでご覧いただけます。

## 行事概要

開催日時:平成 26 年 11 月 30 日(日) 10:00~15:30

開始場所:一宮スポーツ文化センター

主催: NPO エコバンク Japan 協力:こどもエコクラブ全国事務局

保険: 年間を通じ、以下の団体保険に加入  
引受会社 富士火災海上保険会社  
契約内容 対人賠償 1 事故あたり限度額 10 億円  
1 人あたり限度額 3 億円  
財物賠償 1 事故あたり限度額 3 億円

### 当行事期間中の保険内容

国内旅行傷害保険	
死亡後遺障害	1 人あたり 1 千万円
入院保険金	5000 円
通院保険金	3000 円
個人賠償	5 千万円

### 募集の経緯

4 月 助成金の決定後、準備を開始

9 月 全国事務局の協力を得て、参加者募集のチラシを発送

11 月 参加者に、参加決定・参加案内の書類を発送

11 月 30 日 交流会開催

参加者	たかくらこどもエコクラブ (春日井市)	
	ゴーウイングス (名古屋市)	
	半田こどもエコクラブ (半田市)	
	イオンチアーズクラブ尾平 (四日市市)	合計 44 名

この他講師 3 名、オブザーバー 1 名、こどもエコクラブ全国事務局 1 名、  
当会会員 4 名、行事補助スタッフ 5 名

## 行事内容

<開会式> 10:00～10:30

- ・スタッフ紹介
- ・各クラブの簡単な自己紹介

<体験プログラム> 10:30～12:00

### 1. 万華鏡を作ろう : 環境工作

各自持参したトイレットペーパーの芯を使って、万華鏡をつくった。万華鏡の側面に色紙を張り、その上に星やいろいろな形に型抜きした色紙・オーロラ紙やビーズを接着し、おもいおもいのデザインに仕上げた。さらに、牛乳パックを使ったクリスマスツリーか牛乳パックシアターを選択し、時間をかけて丁寧に作り上げた。時節柄の為か、圧倒的にクリスマスツリーに人気があり、楽しむことができた。



### 2. ささきくんからの挑戦状 : 自然観察

前日の雨が上がり良い天気恵まれ、予定通りのプログラムを実施することができた。隣接する大宮公園へ移動し、2つのグループに分かれて公園内の樹木について出題された問題の答えを見つけるというゲーム感覚のフィールドワーク。開始前に、講師より2点の注意があった。

#### ①直接素手で地面や落ち葉を触らないこと

落ち葉や地面には、害を及ぼす虫が潜んでいることがあるため、十分注意しよう。

#### ②年長者は、年少者を手助けすること

交流を深めながら、全員が楽しめるよう心がけよう。



<みんなの活動発表> 13:05~13:55

・ゴーウイングス

壁新聞を使って、活動を紹介した。

主な活動は：

夕焼けの写真 →全国大会で発表。

ヒメボタルを守るため、掃除のお手伝い。

水質パトロール隊に参加し、扇川の水質調査を行った。「ごみを捨てないで」  
交流会全国大会に出席。

マスづかみ・・・感謝の気持ちで「いただきます」

ESDの行事に参加・・・僕のESD「いっぱい学んでいっぱい遊ぶ」

最後に、緑のカーテンから  
採取したフーセンカズラとヘ  
チマの種、お香を出席者  
全員にプレゼント。



・半田子どもエコクラブ

持参した資料を使って発表した。

主な活動は：

トビハゼの放流 →6月に巣穴を発見。産卵があれば、復活が期待される。

カヌー体験

自然観察・・・豊かな自然に触れて、自然を楽しいものとする。  
豊かな自然からの恵みを感謝していただく。



・イオンチアーズクラブ四日市尾平

プレゼンテーションソフト、壁新聞を使って発表した。

主な活動は：

山と川と海などの自然環境を守る活動(約60名)

三滝川の水質調査・・・住んでいる生き物を調べることによって水質がわかる。

(5月、7月、10月に実施)

5月・・・「ややきれいな水質」

7月・・・「ややきれいな水質」

10月・・・「判定不能」

台風の後だったため流れが速く、深く透き通っている水だった。

ゴミの調査 →ゴミを捨てないでほしい。



・松葉さんのお話

★「今、なぜ環境活動をするのか？」

日本はかつて、人々が豊かさを求めて活動し、環境・自然・ゴミなどにあまり関心を払わなかった。その結果、公害が広がり環境や自然が損なわれてしまった。現在のことだけでなく、過去のこと・将来のこととも考えて行動することが大切。

★活動するとき大切な3つのポイント

1. 自分で体験する・・・体験することでわかることがあるし、理解がより深くなる。
2. 学びを続ける・・・体験するだけでなく、調べたり教わったりすることを続けていく。
3. 常に「何故だろう」と考える・・・疑問を持つ→ディスカッション→新しい知識が加わる。

今後の活動に活かしてください。



<壁新聞取材> 14:00~14:30

- ・会場には、全国から選ばれたクラブの壁新聞が掲示されており、「壁新聞取材シート」を使って、一人1枚以上の壁新聞の取材を行った。「取材シート」は、こどもエコクラブ全国事務局を通じて、壁新聞を作製したクラブに届けられる。



<グループに分かれ、交流> 14:30～15:00

- ・5グループに分け、サポーターまたは年長者が進行を受け持ち、自己紹介・得意なこと・嫌いな活動・やってみよう活動などを話して交流した。
- 最後に、グループの代表がグループ内で話したことを発表した。



<山と海と街の学校の交流のお話> 15:00～15:30

- ★住んでいる場所によって抱えている問題が異なる。→ 他のクラブの活動を知る。→気づきがあり、学び合うことができる。
- ★山と海と街、生産者と消費者などが繋がって、問題の解決をすすめる。からだ全体を使って学ぶ楽しみ、知らないことを発見する喜びを感じてほしい。
- ★今日の出会いをきっかけに、つながりが深まるといい。

- ・隣同士で、今日よかったなと思うことを話し合い、4クラブの代表が発表した。



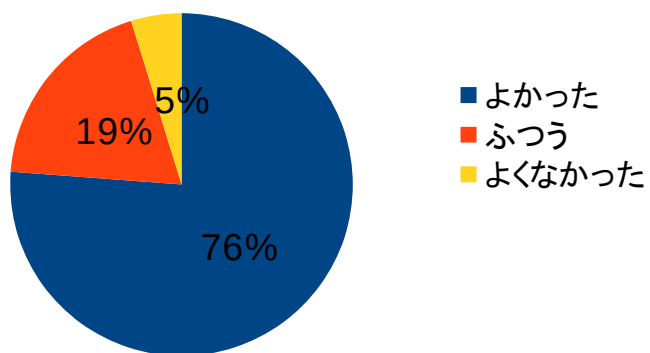
<閉会式・記念撮影>

15:30～15:40

## アンケート結果

①体験プログラム	よかった	ふつう	よくなかった	合計
1. 万華鏡	28	3	0	31
2. 挑戦状	9 (含む とてもよかった1)	2	0	11
②みんなの活動発表	32	8	2	42
③壁新聞取材	31	9	2	42
④交流のお話	25	13	4	42
⑤行事全体	32	8	2	42
⑥交流	できた 26 (含む よくできた1)	ふつう 10	あまりできなかった 6	42

### 行事全体評価





## ⑦感想・意見

- ・またみんなにはっぴょうしたい。すべてがたのしかった。
- ・イノシシ汁が食べたい。他のエコクラブの人と仲良くなれた。
- ・こどもたちの発表をもっと聞いてみたかったです。荻野先生のお話は親の立場からとても共感でき、私たちも先生の下で受講したい気持ちです。楽しい時間でした。準備、進行、片付けなど本当にご苦労様でした。ありがとうございました。
- ・楽しくできました！！子どもたち中心がやはり活気があります。これからもがんばります。
- ・年に一度交流会を行い、多くのエコクラブ会員と意見交換したり遊べるといいと思います。
- ・ほかのクラブと交流できて楽しかった。
- ・他のクラブの活動が良くわかり、これからの活動のお手本にしたいと思うことなどもありとても良かったです。
- ・みんなの活動発表の時に、一番うしろからだと声のとどかなく、きこえなかったので、マイクかなんかで言ってほしかったです。
- ・あんまりみんなと交流できなかったのもうちょい話したりしといた方がいいなと思いました。
- ・こういうのもいいと思った。
- ・活動発表できんちょうしたけど、何回もまちがえなかったのがよかったです。それは、今まで何回かたくさんの方の前で発表してきたからなれてきたのだなあと思いました。
- ・工作や他のクラブの人と交流できたことが本当におもしろかったし、楽しかったです。それといろいろな人と仲良くなったりしておもしろかったです。
- ・このような交流会をすることで他のクラブと話し合えたりできるので、またこんな機会があれば参加してみたいと思いました！
- ・まんげきょうをつくろうがたのしかったです。
- ・他のエコクラブの人たちがやっている活動をしれてよかった。
- ・初めてのさんかたのしかったです。新聞はとてもおもしろかったです。
- ・とても楽しく、ほかのクラブの人と交流したり、ほかのクラブの人の発表を聞いて、いろいろなことも知ったりできたので、交流会をまたやりたいです。
- ・名刺交流が楽しいようで交流のきっかけになりました。他のクラブの子が発表しているととてもしげきになりました。自分とちがう世界 環境に生きる人を見てしげきになった。
- ・知らない活動を知る事ができました。交流を通じていろいろな人と仲良くもってきたらいいなと思いました。
- ・クリスマスツリーを作るのが楽しかった。
- ・工作をもっとやりたかった。

## 行事の成果

・昨年度開催した施設は、公共交通機関利用の場合、1時間に1本のバスしかなく不便さの指摘があったため、今年度は施設を変更した。最寄駅から徒歩10分という立地は概ね好評だったと考える。

・昨年度の施設は空調が一括管理のため各部屋で温度調整ができず、室温をあげてほしいという要望に添えなかった。今年度の施設は、部屋の温度調節が可能であった点がよかった。

・当初、体験プログラムには酸性雨の実験も計画したが、万華鏡工作とクイズ形式の自然観察の二つに希望が集中したため、その二つに絞って行った。アンケート結果からわかるように、二つの体験プログラムは好評で、「楽しかった」「わかりやすかった」「もっとやりたかった」「またやりたい」などの感想をいただいた。

・みんなの活動発表は、発表者にはよい経験となり、発表を聞いた参加者はよい刺激を受けたことがうかがえた。

・今年度掲示された壁新聞はどれも秀逸で、見ごたえのあるものだった。一人1枚以上の壁新聞を取材し取材シートに記入してもらったが、異なる環境に住むクラブの活動に興味を持った様子であった。取材シートは、こどもエコクラブ全国事務局を通じて、壁新聞製作クラブへ届けることになっている。

・名刺交換や5つのグループに分かれての話し合いで打ち解けた雰囲気になり、交流の楽しさを感じてくれた様子であった。

・参加者には低学年から高学年まで年齢差があったため、講師の方は平易でわかりやすく話され、しかしその内容は大人にも参考になるもので、今後の活動に活かされることを期待したい。

・今回最も大きな成果と言えるのは、クラブの会員はもちろんサポーター間でも、他のクラブとつながることの楽しさ、大切さを共有できたことである。今後お互いの活動を連絡し合ったり、お互いの活動に参加し合ったりという方向性で交流を進めていくことで意見が一致した。当会もその橋渡しとしてできる限り支援をしていく。

・アンケート結果から、「体験と交流」を目的とする行事の意義は概ね達成されたと考える。

## 今後の課題

・会場は大きなフロアを区切って使用したため、スペースが十分であったことはよかったが、「みんなの活動発表」では一番後ろの席は声が届かず聞こえにくかったという指摘をいただいた。発表者にもう少し大きな声ではっきり話すことを促すよう配慮が必要であった。

・参加者から「他のクラブの活動を知ってよかった」とか「他のクラブの人たちと交流できて楽しかった。よかった」という感想をいただき、この行事を企画した意義は概ね達成できたと考えている。来年度も開催できるよう準備を進めていくが、今回は参加者が予想を下回ったので、次回はより多くのクラブに参加していただけるよう工夫と検討を進めていく。

・参加したサポーター間では、今後クラブ同士のつながりを深めていこうという意識が共有できたが、その方向性を継続していけるよう行事情報の提供などで支援していく。交流会をさらに有意義なものにするためには、より多くのクラブのサポーターに共感してもらい参加していただくことが大切である。当会はサポーターの情報交換・交流の場として、昨年度に引き続き今年度もサポーター交流会を計画している。その機会を捉えて今回の交流会の成果を伝え、交流会への積極的な参加を呼びかける。

以上、エコクラブ活動の活発化の推進と共に、クラブ間の「つながり」を築けるような支援をしていくことが課題として明らかになった。